建築構造用550N/mm² TMCP鋼材（MSTL-0130,0550,0576,0577）

規格	種類の記号	化学成分 %								引張試験						厚さ方向特性 絞り %	衝撃試験	
		厚さ mm	C	Si	Mn	P	S	その他 炭素当量	その他	降伏点または耐力 N/mm²	引張強さ N/mm²	降伏比 %	伸び 厚さ mm	伸び 試験片	伸び %		試験温度 ℃	シャルピー吸収エネルギー J
建築構造用 550N/mm² TMCP鋼材	HBL®385B-L	12≦t≦19	≦0.20	≦0.55	≦1.60	≦0.030	≦0.015	≦0.44	≦0.29	385～505	550～670	≦80	t≦50 40＜t	5号 4号	26≦ 20≦	–	0	70≦
	HBL®385B	19≦t≦50 50＜t≦100	≦0.20	≦0.55	≦1.60	≦0.030	≦0.015	≦0.40 ≦0.42	≦0.26 ≦0.27									
	HBL®385C	19≦t≦50 50＜t≦100	≦0.20	≦0.55	≦1.60	≦0.020	≦0.008	≦0.40 ≦0.42	≦0.26 ≦0.27							25≦（3個の平均） 15≦（個々の試験値）		

備考）1.必要に応じて上記以外の合金元素を添加することができる。
2.シャルピー吸収エネルギーは3個の試験片の平均値とする。
3.炭素当量Ceq（%）＝C＋Mn/6＋Si/24＋Ni/40＋Cr/5＋Mo/4＋V/14
4.溶接割れ感受性組成P_{CM}（%）＝C＋Si/30＋Mn/20＋Cu/20＋Ni/60＋Cr/20＋Mo/15＋V/10＋5B
受渡当事者間の協定によって、溶接割れ感受性組成を炭素当量の代わりに適用することができる。
5.厚さ方向特性試験の方法は、JIS G 3199による。
6.HBL®385の板厚38mm未満の引張試験片はJIS 1A号を用いることができる。この場合の伸びは15%以上とする。

京浜高炉休止に伴う認定再取得　伸び規格の変更点